鹿児島県立鶴丸高等学校広報紙

好学愛知
自律敬愛
質実剛健

鶴信

第１４４号　R2．２．２８

鹿児島県立鶴丸高等学校
〒890-8502　鹿児島市薬師二丁目１番１号
TEL 099-251-7387 FAX 099-255-3433
http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/Tsurumaru/top.html

「道標ない旅へ」

三学年主任　小宮　正裕

大雨に見舞われ、天井を打つ雨音で呼名の声が時に聞きづらくなるほどだった入学式から、早三年の月日が経とうとしている。多くのことを学び、経験し、友と過ごしたこの学び舎から巣立つ時がやってきた。

この三年間、いろいろな場面で諸君の成長を感じたが、特に今年度は印象深かった。まず四月、七連敗中であった甲鶴戦で、ついに勝利した。どうしても勝ちたいという思いがあってのことだと思う。勝ちどきの声を上げる諸君を見て、「今年の三年生は何か持ってますね。」と言われたものだ。また創立百二十五周年記念第七十一回体育祭では、午前中だけでほぼ勝負が決まってしまうほどの圧倒的勝利を収めたが、いったい誰がこれだけの強さを想像したことだろう。団結する気持ちの強さの大切さを感じさせる、大きな出来事だった。進路面に関しても、大学入学共通テストの話題で受験生の不安が煽られる中、行ける大学でなく行きたい大学に行く、第一志望を貫く、というこれまでの先輩方の伝統を受け継ぎ、自分の可能性を広げながら努力を続けてきた。

さて先日ある本を読んだのだが、現代の英国における多様性が引き起こす様々な問題を、日本人とアイルランド人の両親とその息子がともに悩み、考え、乗り越えていく姿が描かれている秀作であった。鹿児島でも訪日外国人が多くなり、コンビニなどで働く外国人の姿を見ることも日常となってきた。国籍、人種、文化、性別、年齢といった多様性は広がるばかりである。多様性に関してこの本に記されていた次のような内容が特に興味深かった。

「なぜ多様性が大事なのか。多様性は大変だしめんどくさいけど、多様性は無知を減らす。」我々は誰もが日本語をわかって当然という均質的な社会で生きてきている。言葉に出さない部分を忖度したり、空気を読むという圧力が生じたりすることがよくある。しかし、これからは多様性の中で生きていく事が求められる。異なる文化で育ってきた人たちが話す、決して流暢とは言えない英語や日本語を介しながら、お互いの言いたいことを理解し合わなければならない、そんな時代がすぐそこまで来ている。いや、もう既に始まっているのかもしれない。

本で紹介されている「エンパシー」（empathy）という言葉を知った。「共感」と訳されるが、同じように訳される「シンパシー」（sympathy）が一般的である。文中で「エンパシー」の意味は、「自分と違う理念や信念を持つ人や、別にかわいそうだとは思えない立場の人々が何を考えているのだろうと想像する力のこと」と綴られている。多様性の中で生きていく際に必要な力とは、こういうことではないだろうか。

一方でここ何年か我々を取り巻く問題を見ると、「それまずいんじゃない。おかしいでしょう。」という声が上がる中、大人によるごまかし、言い訳、狡猾、矛盾等が溢れている。これからを生きていく若者に誇れる世界を、恥ずかしながら大人たちは作れていない。

その上で諸君に未来を託す、などと無責任なことを言えるわけがない。しかし新しい価値観、新しい世界が生まれていくこともまた事実なのだ。失うものなど恐れずに未知の領域に挑んでいく。志あれば必ず社会は、世界は変えられる。

鶴丸に挑んだ日々はいったん終わりを告げる。そして新しい世界がすぐそこに諸君を待ち構えている。鶴丸高校第七十一回生に幸あれ。挑戦する人生を。

センター試験を前に後輩からのエールを受ける3年生

熱い思いを声高らかに
～第二十五回　校内弁論大会～

今年度の校内弁論大会が二月十日（月）に実施された。一・二年の代表各三名、計六名の弁士が、自分の考えや思いを熱く語った。また、来年度高知で開催の全国高等学校総合文化祭に弁論専門部から出場が決定している大徳玲奈さん（二一R）の弁論も披露された。

審査の結果、最優秀賞に大坪亮介さん（一四R）が、優秀賞に溝脇知弘さん（二八R）と白尾彩也香さん（一七R）が選出された。

「私の一歩」　大坪　亮介（一四R）

この中にも、ご存じの方がいらっしゃるかもしれませんが、私は去年の夏から秋にかけて髪を伸ばしていました。立派な校則違反です。先生方に注意を受けたのも一度や二度ではありませんでした。ただ、私は髪の短い男子のような自分の姿が嫌だったんです。私は、私の性の形が分からないでいます。そんな私の経験と、一つののお願いを聞いていただきたい。

鶴丸高校の校則では、生徒の髪型についてこう決められています。「髪は高校生らしく、清潔に保ち、極端に長くしない。特に男子の場合は髪が襟にかからないとともに耳を隠さない。また、前髪が目にかからないようにする。」なぜ、男子だけ髪を伸ばすことを制限されているのでしょうか。自分なりに出した答えは「清潔感」です。近年、世の中のあらゆる場面で男女平等が叫ばれていますが、人間の認識はそう簡単に変えられない。男子は特に短い髪がよい、という固定観念はまだ日本の社会に根強く残っているのだと思います。では、この学校では、どんな理由があろうと男子は髪を伸ばしてはいけないのかというと、そうではなく、この規則の最後には「正当な理由があって所定の服装ができないときは異装許可を受ける」とあります。もし、私が申請していたら、異装許可は出ていたでしょうか。もし、皆さんが教員の立場にあり、このような相談をされたとしたら、どうするでしょうか。異装許可を出しますか。

もう一つ、別の例をあげます。私が、小学生の頃、ある人に自分のことを相談したことがありました。「私っておかしいかな。変だよね。」今考えると、漠然としていて、答えに困る実に子どもらしい質問。もし、皆さんだったらどう答えるでしょうか。その人は少し考えてから、こう答えました。「あなたは変わってなんかないよ。普通だよ。」もう何年も前の、何でもない日の数分間。その人はきっともう忘れていると思いますが、私はこの答えを聞いた時のモヤモヤを忘れることができません。私は私らしさをそのまま、認めてほしかった。私はこの時、「変わっていても、おかしくても、あなたはあなただよ」と言ってほしかった。

今まで、いくつかの質問をさせていただきましたが、皆さんなりの答えは見つかったでしょうか。見つかっていたなら、この弁論の目的は果たされたとも言えます。なぜなら、冒頭に述べた私のお願いというのは、これらの「もし」を考えてみてほしい、ということだからです。それは、皆さんのこれから先の人生において、私のように悩んでいる人に出会ったときに、一緒に考えてあげられるような「視点」を持ってほしい。そして、その目で社会を見渡し、どんな人がどんな事に、どんな風に傷つくのかを推し量れる「心」を持ってほしい、という思いからきたものです。

そうしていけば、一人一人が本当の意味で自分らしく生きられるような世の中になる、そう信じています。

今日、私がここに立ち、自分の世界を少しでも変えようと踏み出したこの一歩が，誰かの勇気や活力に、そして、より良い社会への小さな足がかりの一つになったら幸いです。

「世界へ視野を広げよう」
～外務省高校講座～

一月二十二日、一・二年生を対象にして外務省高校講座が実施された。外務事務官として活躍されている森田大基さんを講師に迎え、「これからの世界と日本～国際人材となる諸君へ～」の演題で話をしていただいた。アメリカと北朝鮮の会談や、北朝鮮によるミサイル発射への対応等日本と朝鮮半島の外交を担当する課室での貴重な体験談に加えて、アメリカやフランス在住時のエピソードも聞くことができた。世界を相手に活躍されている外交官の仕事を知る貴重な時間となった。また、講演後、会議室にて希望者約三十名の生徒との座談会が催され、参加生徒にとっては更に深い学びとなった。

座談会の様子

○感想文から　福峰　日菜（一六R）

今日は非常に興味深いご講演をありがとうございました。「外交官」というお仕事について、今まで耳にしたことはあっても、詳しく話を聞く機会がありませんでした。今日の講演でひとくくりに「外交官」といっても、様々な国や担当分野、専門分野があることを知り、とても驚きました。

私は将来、外国に行きたいという漠然とした夢があります。講師の先生のフランス留学の体験を聞き、一層希望が強くなりました。また、外国にいなくても、日本について、日本人として、日本や世界に自分の力で影響を与える事ができるとわかり、視野が広がりました。外交官という仕事に限らず、進路を決めていかなければならない高校生の私たちにとって大切なことを学ぶことができたと感じます。人の話を聞く力、決断をし、その決断に自信を持って取り組むこと、こだわりを持つこと、飛びこむ力。必要な力と言われて、今まで思いつかなかった、新しい視点を持つことができました。

私は今、進路や将来のことについて、決断しきれていないことがたくさんあります。今日の先生のお話を聞いて、色々な面で背中を押されました。先生の言葉や学んだことは一生忘れないと思います。

３月の行事予定

1	㊐			×
2	月	第71回卒業式		×
3	火	スクールカウンセリング		○
4	水	入学学力検査場設営		○
5	木	入学学力検査	生徒自宅学習期間	×
6	金	入学学力検査	生徒自宅学習期間	×
7	㊏		生徒自宅学習期間	×
8	㊐	国公立大学中期日程試験(3/8～)	生徒自宅学習期間	×
9	月		生徒自宅学習期間	×
10	火	学校安全の日	生徒自宅学習期間	×
11	水		生徒自宅学習期間	×
12	木	国公立大学後期日程試験(3/12～)	生徒自宅学習期間	×
13	金	合格者発表		○
14	㊏	悠学講座⑨		×
15	㊐			×
16	月	学年朝会　合格者集合 1,2,5,6,3,4,7の授業		○
17	火			○
18	水	スクールカウンセリング 1年救命救急法短期講習		○
19	木			○
20	㊎	春分の日		×
21	㊏			×
22	㊐			×
23	月	スクールカウンセリング		○
24	火	合格体験を聞く会		○
25	水	終業式　大掃除 復習考査時間割発表		×
26	木		年度末休業日	×
27	金	離任式	年度末休業日	×
28	㊏		年度末休業日	×
29	㊐		年度末休業日	×
30	月		年度末休業日	×
31	火		年度末休業日	×